

1. 低コスト型汚水処理システムの開発



現状・課題

- 供用開始から20年以上を経過する**老朽化施設が増加**
- **改築更新を実施する地区の割合は低い**
- 計画的な改築更新整備を実施するための新たな処理方式の開発が必要



取組み内容

- 本実証事業の中で、嫌気性ろ床槽をもつ**III型等の切替改築に適用できる処理方式の大臣認定を取得**。特長は、以下のとおり
 1. **硫化水素の発生抑制** (好気性処理)
 2. **汚泥量の減量化**
 3. 処理水質及び**巡回管理頻度(生物膜処理:1回/2週)**は変わらず



効果

- 硫化水素の発生が抑制されるため、**施設補修更新の頻度が少なくなる**
- 汚泥量が少なくなることにより、**切替改築後の汚泥処理費が低減**
- **老朽化施設が切替改築され、汚水処理機能を持続的に発揮**